

信楽まちなか芸術祭が閉幕

深まりゆく秋の信楽を舞台に展開された信楽まちなか芸術祭が11月23日、54日の会期を終えて閉幕しました。

信楽焼を始め、朝宮茶や紫香楽宮跡など、このまちなかにしかない歴史や文化を発信した祭典。訪れとおもてなしの融合によってまちなかのいたるところで感動が生まれ、そしてまちなかの新しく大きな可能性を感じることができました。

今回は、信楽まちなか芸術祭に訪れていただいた方、会場でスタッフとして信楽まちなか芸術祭を支えていただいた方のご紹介をします。

訪れる

おくた まちこ
奥田 真知子さん
ちなみ
知菜実さん
(信楽町長野)



信楽まちなか芸術祭は、産業と観光が接点となった、いろんなことを知ることができるイベントだったと思います。

まちなかには焼もののまちなかとしての歴史がたくさんあります。これらをアピールできるよい機会だったと思います。これからも地域が感じる信楽を地域全体で盛り上げていくことができればいいですね。



ふじもと ただし
藤本 忠さん
リエ子さん
(大阪府枚方市)

毎年この季節に紅葉とまちなかの観光に訪れています。今回は、信楽まちなか

芸術祭のため、仕事の風景なども見ることができ、新たな面を知ることができました。

信楽のまちは、落ち着いた古き良き時代の雰囲気があり、ホッとします。この素敵な風景が変わらず残り続けてほしいと思います。

まつもと りょうた
松本 良太さん
(茨城県笠間市)



自分が住んでいる所が陶器のまちなかで、もともと陶器に興味があり、全国の陶器のまちなかを訪れています。

信楽まちなか芸術祭は、聞いていたよりも規模が大きく、陶芸に間近に触れることができ驚いています。こうしてまちなか全体で取り組んでいるイベントは珍しいのではないのでしょうか。やはり演出は大事ですね。

すずき しんいち
鈴木 伸一さん
(奈良県奈良市)



趣味で水彩画を楽しんでいます。ここにしかない独特の風景が間近に見られてうれしいです。

信楽には何回か来たことがありますが、国道から見るためきの風景以外は知りませんでした。違う季節にも訪れたいです。

まちなかでは、多くの地域の人に声をかけてもらいました。そんな何気ないあいさつがうれしいですね。

迎える

インフォメーションスタッフ
いとう ゆうこ
伊藤 由子さん
(湖南市)



信楽というまちなかを知り、多くの方と触れ合うことができ、充実した毎日で非常に勉強になりました。これからはこの経験を自分の地域でも生かしていければと思います。

信楽はだれもが「〇〇ちゃん」と呼べるような、みんなが協力できるようなまちなかだと思います。今回はさらに団結できるよいきっかけだったと思います。

まちなか会場スタッフ
きたむら かつこ
北村 勝子さん
(信楽町長野)



登り窯など古いまちなかの保存に非常に努力されていることを知るなど、私たち地元の間でも新しい発見があり勉強になりました。開会中、何回も訪れる方が多くおられ、私自身が信楽の魅力の大きさを感じる機会にもなりました。

いろんな方と顔見知りになり楽しく過ごせました。こういう機会があればまた参加したいですね。

信楽まちなか芸術祭の詳しい模様は、12月15日号の特集でご紹介します。